

第1回 航空機の脱炭素化に向けた新技術官民協議会 議事要旨

日 時：令和4年6月20日（月）14:00～16:00

場 所：オンライン会議

事務局からの資料説明及び構成員からの取組説明後、以下の意見交換がなされた。

○意見交換

- 実験設備が重要な課題、実証ができて初めて技術をアピール可能。我が国には実証実験をできる環境がなかなかない点が大きな課題。ハードウェアだけでなく、評価手法というソフトウェア的な部分も重要。製品のライフサイクルでのCO2削減の評価技術も協調領域。
- 各要素技術がどう実現されていくか、どう脱炭素に貢献するかという説明があると理解が進む。航空機は購入後20年以上使用するため、安全性、効率性のみならず整備性、製品のサポート、管理体制も重要。
- 燃費効率改善というメリットだけでなく、使い勝手についてエンドユーザーの視点に立つことも重要。日本ゆえに貢献できる分野がある。
- 今回の協議会にて国際標準化・認証について多くの課題が挙げられた。他方、色々と経験がある組織がいることも分かった。挙げられた課題に注意していきながら、実証試験設備、水素関係の標準化等に重点を置きつつ活動していくことが必要。また、これまでNEDOの活動をしていた組織、NEDOの他の事業を進めている組織で協議会への参加を希望する組織には声をかけていただくと良い。